

平安時代から続く

京の鳴く虫文化

「京都府庁2号館屋上「京てらす」で学ぶ夏の宵」

令和7年

8月

①

16日

(土)

②

17日

(日)

17時半～19時半

受付 17時10分～

集合場所 京都府庁旧本館旧議場

講師 岩井大輔氏（公財）日本生態系協会

内容 17時半～ 講演「鳴く虫の文化を知る～鳴く虫と人との関わり～」
18時20分～ 京てらすにて鳴く虫の鑑賞
18時45分～ 京都御苑へ移動
19時半 京都御苑にて解散

対象 小学5年生以上（小学生は保護者同伴）

*①②の日程とも、同様の内容です。

*雨天の場合は、京都府庁旧本館旧議場において、録音した虫の音の鑑賞などを予定しています。

参加費
無料

定員
各回30名

申込制



「虫は鈴虫。ひぐらし。蝶。松虫。きりぎりす。はたおり。」

平安時代から貴族の優雅な遊びとして鳴く虫の声が楽しまれ、『枕草子』や『源氏物語』などの文学作品でも描写されています。江戸時代には竹細工の籠に入れられたマツムシやスズムシが売られ、庶民も鳴く虫を身近に置いて愛でていました。

古から続く鳴く虫の文化と生物多様性のつながりを学び、虫の音を通じて、移り行く季節を感じる一夜を過ごしませんか？

申込
方法

右のQRコードからお申し込みください。
申込多数の場合は抽選となります。
締切：8月6日（水）



主 催
問 合 せ

京都府・きょうと生物多様性センター
京都府自然環境保全課
Mail: shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp
Tel: 075-414-4706 FAX: 075-414-4705